

発行：ひたちなか市の環境を良くする会
会長 小川 和 昭
編集：広報委員会
監修：ひたちなか市環境政策課
TEL：029-273-0111 (内 3314)

環境から版

アースデイ!

誰もが地球環境のために
何か行動を起こせる日!



4月20日那珂湊・姥の懐マリプールで「Earth Day UBA! Hitachinaka」実行委員会によるアースデイ イベントが開催されました。

アースデイは、1970年に「地球のために行動を起こす日」としてアメリカで始まり、その後、東京・大阪等の多くの自治体で開催され、茨城県では、昨年ひたちなか市が最初に開催し、今年で2回目の開催になります。

本会は、アースデイ イベントに初めて参加しました。会のブースで、段ボールコンポストの見本展示、森林保全活動で間伐した竹の有効利用として、竹の花器・クラバス・ぽっくりなど展示し、希望者にプレゼントしました。

また、夏の省エネ・節電に向けて、緑のカーテン用にヘチマなどの種をプレゼントしました。



会のブース



会場では、「ワンネス・エコ ひたちなか」による環境劇が上演され、来場者を盛り上げていました。

劇中では、マイクロプラスチックによる海洋汚染防止の呼びかけや、ヘチマタワシを使用する紹介もあり、子ども達も熱心に観ていました。

霞ヶ浦導水・那珂機場見学会

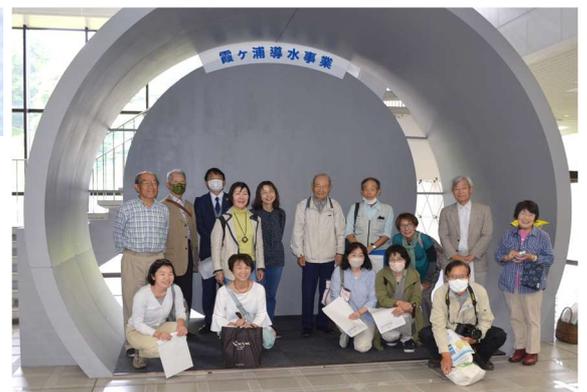
6月4日水戸市渡里町の霞ヶ浦導水・那珂機場を、市民・本会会員16名の参加で見学会を実施しました。

那珂機場は、霞ヶ浦の水質を改善するのを目的に、那珂川の水を地下トンネルを通して霞ヶ浦に送水する施設です。

導水事業は、40年前に計画されて、一部完成していますが、現在も地下トンネル工事が行われており、令和12年に完成予定とのことです。

施設内で導水事業の展示パネルの説明を受け、送水ポンプ駆動部、地下の送水ポンプ室、那珂川の水を取水して砂などを取り除く沈砂池を見学しました。

導水事業は、霞ヶ浦の水質浄化のためだけではなく、利根川・那珂川の水量が不足する時期に相互に水を供給してもらうメリットがあるなど、見学して初めて分かったことも多くありました。



地下トンネル(直径3.9m)を模した
展示品の中で記念撮影



送水ポンプ駆動部



沈砂池の見学

環境四季時計「夏祭り」 キャンドルナイト

6月22日東石川小学校校庭、勝田駅前(東口)市民交流センターギャラリー前で、「未来ネットワークひたちなか・ま」と共催し、環境四季時計「夏祭り」・キャンドルナイトを実施しました。

夏の省エネ・節電に向けて、校庭にエコキャンドルで描いた「ECO'24」の文字の前で、市職員によるバンドやトランペット・オカリナ演奏を聴きながら、来場者約300名がスローな時を過ごしました。

市廃棄物対策課職員「ごみ減量啓発バンド」の演奏では、ごみ削減を訴えるオリジナル曲により、温暖化防止促進の大切さを呼びかけていました。



キャンドルを灯して描いた文字



市職員バンド「IN DUST REAL」の演奏



↑ 源頭部
い・砂質泥岩層になっており、雨が降ることにより地中にしみ込んだ雨水が噴き出す湧水地(源頭部)になっています。

6月16日海浜公園沢田湧水地で、海浜公園・砂丘美化パートナーグループと市民・本会の事業所会員と会員16名で外来種植物の除去作業を実施しました。
沢田湧水地一帯は、地下に厚い砂の層があり、その下は水を通じにくい・砂質泥岩層になっており、雨が降ることにより地中にしみ込んだ雨水が噴き出す湧水地(源頭部)になっています。

国営ひたち海浜公園 パークパートナー活動



ココナッツ石井さんの演奏



会場入口のキャンドル

会場入口では、多くの家族連れがキャンドル用の紙パックに色とりどりの絵を描き、並べて飾りました。



除草作業の様子



参加の皆さん

沢田湧水地には外来種植物が多く生育しており、セイタカアワダチソウなどの雑草を根から抜き取る作業を行いました。



ガイドツアーの様子



ショウジョウトンボ

活動に先立ち、沢田湧水地の木道を歩きながら、砂丘美化パートナーグループのガイドツアーにより、豊かで貴重な自然について学びました。
沢田湧水地には、多様な動植物が生育する貴重な環境が形成されています。
目にするのが少ない、オゼイトトンボ、カワトンボ、キイトトンボ、目まで赤いショウジョウトンボなどを観察することができました。

わがまちの環境活動

工機ホールディングス株式会社

環境推進課 中村

当社は「宇宙まで」に輝く青い地球(ほし)、未来に残そう緑の大地」をスローガンとして省エネルギー・廃棄物削減・生態系保全などの環境活動を展開しています。
省エネ活動としては、設備の稼働率向上や節電活動、資源循環活動として、廃棄物のリサイクル化、廃棄物排出量の削減などに取り組んでいます。

また、生態系保全活動として、工場内の緑地を保全、植生調査および野鳥の生息実態調査を実施し、多様な動植物が共存する自然を大切に保護しています。

地域とのつながりを重視している当社は、今後も会社全体で地域の環境保全活動に参加していきたいと考えています。



工場敷地内の自然環境
保護区植生調査

第10回「緑のカーテンでエコチャレンジ」

2015年に始めた「緑のカーテンの普及活動」は、今年で10年目を迎え、今年も環境問題に取り組んでいます。

講座「省エネ・節電にもなる

楽しい緑のカーテン」

5月25日ふあみりこらぼで表題の講座を開催しました。県立佐和高中生11名を含む18名が参加しました。

講座では、温暖化防止分科会長より『一緒にやりませんか テコ活大作戦』と題して、地球温暖化の差し迫った現状と、それを避けるための「こみ削減」「省エネ・節電」「食品ロス低減」「節力ソリン・節ガス」など、具体的課題について講話がありました。

昨年、佐和高JRC部の皆さんが取り組んだ「各種のポランテア活動や緑のカーテン作り」について紹介、また、市内でパッションフルーツの栽培を営む飛田氏による「もみ殻燻炭の作り方・有効利用法」の紹介がありました。

本会の「緑のカーテンでエコチャレンジ」の活動について、これまでの「緑のカーテンでエコチャレンジ」への応募数、総育成面積の変化などについて説明しました。

参加した皆さんに緑のカーテン用のつる性植物の苗、もみ殻燻炭、竹

酢液などをプレゼントしました。

育成中の緑のカーテンの

「写真」「育成面積」を募集!!

応募方法 最寄りのコミセンなどに設置された応募用紙に必要事項を記入の上、応募してください。

また、緑のカーテンのホームページから応募ができます。



応募された写真等は11月の「消費生活展」でパネル展示、「緑のカーテンの普及」に活用します。

環境よもやま

4コマ

デコ活について



<https://www.env.go.jp> で「デコ活」を検索



デコ活の講話



緑のカーテン作り説明

出前講座「かさま志民大学」 段ボールコンポスト講座

笠間市立公民館より依頼を受け、5月31日公民館主催の「かさま志民大学」段ボールコンポスト講座の講師を担当し、笠間市民20名が参加しました。

笠間公民館で段ボール箱、中敷き、基材などを用意していただき、基材の分配作業等を公民館スタッフの協力により、スムーズに行うことがで



熱心に基材の攪拌作業



質疑応答の様子

きて、有意義な講座になりました。

講座では、微生物により生ごみが分解される仕組みを、実験を含めて説明しました。参加者は、メモを取りながら真剣に講師の説明に耳を傾けていました。

日常管理等の説明後、質疑応答では、「残り物を入れてよいか」「青カビが生えたものは入れてよいか」「油はどつか」など数多くの質問があり、笠間市民の環境に対する関心・意識の高さを感じました。

**特定外来生物(植物)
オオキンケイギク除去活動**

5月26日佐和地区さわ野杜団地脇道路法面の「オオキンケイギク」を、さわ野杜自治会・県・市職員・本会会員計28名の協働で除去作業を実施しました。現地での除去活動は7年目になり、数的には少なくなっていました。道路法面の傾斜地で膝丈ほどに伸びた雑草に囲まれ足元を気にしながら、雑草抜き工具を利用して、根から抜き取る作業を行いました。



道路法面での作業



2018年5月撮影



参加の皆さん

自治会員から、新しく芽生したものを採しながら「来年の楽しみに残さないように」と声をかけながら和気あいあいの雰囲気の中で作業しました。

5月18日県道31号線から多良崎城跡公園への分岐点付近を、本会の事業所会員と会員9名で除去作業を実施しました。

同地域の活動は、9年継続して除去作業を行っており、生育数が減少してまいりました。



新たに発芽したものを来年の楽しみに残さぬように

**多良崎城跡公園
自然観察会**

5月7日多良崎城跡公園で小雨の中、参加者17名で自然観察会を実施しました。公園内には、貴重な山野草や樹木があり、それらの保全に寄与することを目的に行いました。



参加の皆さん

環境アドバイザーによる、約30種類の草木の名前やその由来などの説明を聞きながら、園内を約2時間散策し、参加者から多くの質問もあり、有意義な観察会になりました。

**出前講座
竹工作・菜箸作り**

4月14日市立東石川小学校「ひたちなか少年少女発明クラブ」教室で、竹の工作・菜箸作りを40名(小学3年〜中学1年生)の参加で実施しました。

菜箸加工の仕方を説明し、児童たちが小刀を使用して工作を行いました。竹工作を行った児童の感想より。(一部抜粋)

・竹を削るのに意外と力があるのので一本作るのにもかなり苦労したが、先生たちが優しく、分かりやすく教えてくれたので楽しく菜箸を作ることができた。(小5)

・初めて小刀を使ったので、難しかったけど、だんだん慣れてきて楽しかったです。自分の思い通りにできなかったけど、先生に褒められてうれしかったです。(小3)



子ども用 大人用 菜箸

膝当て布を敷き加工



お母さんにプレゼント！
美味しい料理が楽しみ

ひたちなか市の環境を良くする会 事業所会員の紹介

<p>KOMATSU コマツ 茨城工場 ひたちなか市長杉 163-46 http://www.komatsu.co.jp/</p>	<p>人と自然への思いやりに大切に 勝田環境 KATSUTA KANKYO</p>	<p>ガーデン・エクステリアのデザイン・施工 Maki planning http://www.mams-garden.com/ プロが選ぶガーデン雑貨の専門店 Mam's garden http://www.makipla.com/</p>	<p>木質バイオマス発電所 (株) バイオパワー勝田 ひたちなか市高野 1974-1 TEL.029-270-3341</p>	<p>HiKOKI 工機ホールディングス(株)</p>	<p>リコーインダストリー(株) 勝田事業所 インクジェットヘッド ドットインパクト ひたちなか市武田1060 www.industry.ricoh.co.jp</p>
<p>マルハニチロシーフーズ株式会社 ひたちなか市和町3丁目13400番地2</p>	<p>廃棄物の中間処理施設 KATSUTA 株式会社 カツタ ひたちなか市高野1968-2 TEL(029)270-3711代 http://www.eco-katsuta.com/</p>	<p>社会福祉法人 新世会 いきり苑</p>	<p>私たちは、 美しい地球を次の世代へ！ のスローガンのもとに、一丸となって地球環境の継続的改善と環境汚染予防活動を推進しています。 (株)日立製作所水戸事業所</p>	<p>はなのお幼稚園 Hanazono kindergarten</p>	<p>ひたちなか市武田1060 www.industry.ricoh.co.jp</p>